

建学の精神・理念と教育の目的・目標

学校法人 須賀学園（理事長 須賀英之）は、明治 33 年 11 月 3 日、須賀栄子により栃木県最古の私学女子教育機関として宇都宮市に創設され、令和 2 年には創立 120 周年を迎えました。現在、宇都宮短期大学（昭和 42 年創設）、同附属高等学校（明治 33 年創設）、同附属中学校（昭和 58 年創設）、宇都宮共和大学（平成 11 年創設）を擁し、学生生徒約 3,300 名が学んでいます。

「全人教育」を建学の精神に、学生生徒一人ひとりの能力、個性、特性に応じた教育と生活指導の徹底を実践して、進学や就職、クラブ活動で優秀な成績をあげ、北関東における歴史と伝統を持つ総合学園として高く評価されています。須賀学園の卒業生は 6 万 6 千名を超え、企業、団体など様々な場で社会人、経済人、教育人、家庭人として幅広く活躍しています。

この須賀学園の「全人教育（人間形成の教育）」の理念をもって、宇都宮短期大学は、昭和 42 年に北関東で先駆的な音楽単科短大として創設されました。以来、音楽科では、その優れた教育内容と教授陣、教育設備は高く評価され、これまでに約 3,800 名の卒業生を送り出しています。特色あるカリキュラムで、音楽教育の一層の拡充に取り組んでいます。

平成 13 年に人間福祉学科を設置し、これまでに約 1,900 名の卒業生を送り出しており、地域福祉のリーダーを養成する教育機関として、厚い信頼を得ています。

また、豊かな地域社会の持続に欠かせない食や食育・栄養の指導と支援、食文化の継承および食品の開発等を担っていく中核的な人材養成を目指して、平成 31 年に食物栄養学科を開設しました。

建学の精神「全人教育」

建学の精神は「全人教育（人間形成の教育）」である。創立者 須賀栄子は、明治 33 年（1900 年）以来、学校の教育に専心するとともに、当時の寮生活において学生と寝食をともにし、文字どおり一人ひとりの個性を伸ばす生活指導を行った。それが、「全人教育」の原点である。

本学園の教育理念

- I. 人間尊重の精神と豊かな人間性とを啓培し、民主社会における真にのぞましい人間を育成する。
- II. 円満な教養と高い徳性とを培い、個々の特性の伸長につとめ、心身ともに健康な人物を育成する。
- III. 自主自立の気風を高め、忍耐力と実践究明の態度を涵養し、勤労と責任を尊ぶ人材を育成する。

生活目標

いちにん いっこう

「一人は一校を代表する」

本学園では「全人教育」の理念にもとづいて、「一人は一校を代表する」を生活目標としています。この言葉は学生一人ひとりがそれぞれに本学の学生としての自分の価値を知ってそれを大切にしていこうというものです。また他人の価値も認め尊重しあえば素晴らしい社会を築いていけるものと思います。価値を自覚する心こそ、人間の大きな喜びであり、幸福の素材です。本学はその価値のあり場を認識し、価値のあり方を勉強する修養の場所でありたいと願っています。

教育目的

宇都宮短期大学は、教育基本法及び学校教育法の精神に従って大学教育を施し、一般教養及び専門の知識と技能を授け、文化の創造と発展に貢献し得る有為な青年を育成することを目的とする。（学則第 1 条）

学習成果

- 1 自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている。
- 2 豊かな人間性と感性をもち、目指す専門分野に係わる基本的な知識・技術・方法を身につけている。
- 3 専門技術を生かして地域や社会に貢献できる能力を身につけている。